

## e-ビーフNEWS 北の牧場から

January 2024

## 十勝の大晦日

積雪のなかった十勝にまとまった雪が降りました。それも大晦日に。風が吹く真っ黒な土埃が舞っていましたが、全風景が真っ白に変わりました。それでもこのところ、穏やかな日が続きます。冬至を過ぎても朝焼けはラジオ体操時間。牧場行く川沿いは、霧で覆われ、木々は霧氷で真っ白になっています。抜けるような青空に、十勝を囲む白銀の日高連山がくっきりと浮き出しています。ハクチョウたちは、出遅れたのか今でも隊列組んで飛んでゆきます。白原にキタキツネが点々と足跡を残し横切ってゆきます

牧場では、正月早々マイナス18℃と一段と下がり、肌がひりひり痛く、黒毛の牛たちは、霜が付き真っ白。それでもモクモク、今年できたデントコーンを食べていました。こしばらく寒さに耐えてゆかねばなりません



## 活動のお知らせ

12/1(木) 環リ協事務局会議 シンポジウム総括と次年度に向けて ZOOM  
3/5(火)~3/8(金) FOODEX2024 東京ビッグサイト  
10:00-17:00

## NEWSばか読み

- 岩手大学 獣医学部新設 東北国立大で初  
12/1:大型動物系増えるかな
- 帝国データバンク 23年食品値上げ32千品 価格転嫁進む 収束傾向12/1:
- COP28「エミレーツ宣言」採択 気候変動対策と農業・食料システム強化12/2:実行を
- 農水省 2023年度1等米比率61%過去最低 高温耐性品種は堅調12/2:気象対策
- WMO23年世界気温 1.4℃上昇 パリ協定危機  
12/2:進みが早い
- 財務省データ 牧草配合飼料原料依然高値5割高 下げ要因乏しい12/4:厳しい
- 農水省 農大や農高に有機農業専攻科創設に補助  
12/5:みどり戦略の一環
- 北海道 酪農支援に経産牛1頭に5千円12/5:少しでも
- 農水省 27年度環境直払い新制度 みどり新法根拠  
12/6:続々
- 農水省 農地所有法人の出資比率規制緩和方針2/1→3/1食品事業者含め12/7:
- デラバル つなぎ牛舎用製品の販売中止 AW規制影響  
12/7:世界は進む
- インターテスラ 牛ふんでロケット燃料 エンジン試験開始  
12/8:活用広がる
- 全国のこども食堂過去最多の9000か所 地域のインフラ支え  
12/15:補完
- JA全農 東京都と下水から回収リン活用で連携協定  
12/16:国産資源につながるか
- パナマ運河 濁水で通航制限 飼料原料の輸送が鈍化  
12/18:また上がる要因
- 茨城常陸大宮市 有機・慣行農業者の共存協定締結 全国初  
12/18:環境共存
- 輸入飼料高騰で耕畜連携が各地で活発な動き12/19:共存
- JA全農 1-3月相場高騰・輸送費増で配合飼料2800円上げ  
12/20:またまた
- 北海道27年全共 8月26日~30日開催日決定  
12/20:暑さ避けて?
- 農水省 24年度事業 子牛下落で奨励金制度12/20:有効か
- 訪日客が年間2000万人超え コロナ以降初12/21:定着するか
- ダイハツ出荷停止 6割シェアの軽トラに影響12/22:おいおい
- 農水省 22年農業総産出額9兆円1.8%増  
12/23:頑張っているね
- 消費者庁ほか 脱食品ロス大国のためのルール作成へ  
12/25:年間600t解消なるか
- 農水省 24年組織変更 小麦大豆の増産国産利用促進向け強化  
12/25:自給率上げよう
- 政府 輸出戦略で牛肉輸出産地50選定 補助金拠出  
12/26:海外富裕層向け
- 北海道家畜保健衛生所 7-9月病気発生率最多 猛暑で  
12/27:涼しい北海道は過去
- 神奈川県 HP掲載 エコフィードのマッチングサイトシステム  
運営12/28:行政が主導

## 東京直近NEWS(12/29 Shi-REPORT)

## ホルス

市況相場は低迷し3桁価格での上場。  
販売状況は年内ロイン引合と切落し需要は継続。カタロースは価格次第、モモパーツは引合緩む。  
冷凍カタロースは例年ほど引合無く、産地も在庫余裕あり需要期での販売期待外れる。  
年始以降のオーダーは様子見多く、冬休みから冷凍需要も一服し年始製造の手当ては一定量もその後は鈍いか。  
年始以降の不需要期は販売苦戦予測。


## 経産牛

経産牛相場は高値安定推移も上場頭数は年内各産地多いとの情報。各産地製造キャパは万度で年内予定通り加工予定。  
頭数減少傾向の情報も直近結果は頭数増で加工もフル稼働の様子。販売は年末一定数維持で大きな特需は無く定量販売。  
一部モモウデ部位の余裕あり販売は上口にシフトから経産牛需要減。挽き材についても一定量維持しており、大きな乱高下なく推移。  
年明け以降、今後の見込み出荷頭数予測から在庫確保の動き可能性あり。製造コスト上昇も続いており値上げ可能性大。

今月は、瀬野さんの「反芻動物の科学」14回目(4/4)を掲載いたします。

### ⑱反芻時間を直接測定することが可能になる

反芻時間の安定が、ルーメンの恒常性につながる



サウンドセンサーが寝食と反芻の咀嚼を判別し、反芻量をカウントする。(SOR性の電子タグ：ヒータムHR)  
(CORNIS:LeidyのHPより)

### ⑳センサーで計測した反芻時間(乳牛の例)

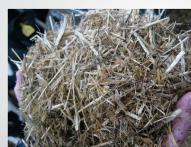
項目	A	B	C	D	E
Milk (kg)	9.350	11.500	11.461	13.140	11.209
リアル乳量	29.0	37.0	31.4	36.0	36.0
Fat (%)	4.3	4.0	4.1	3.9	4.0
DM (kg/日)	20.3	24.0	21.7	24.0	21.7
FE	1.41	1.54	1.45	1.5	1.65
RT (分/日)	4.34	4.43	5.00	5.00	5.15

※採乳ロボット計測「500分を超え」ことが目標だが、DM比では、少ない。※実際に計測する反芻時間より多くを反芻時間を計測することも知られている。※国内では、「500分を超えている」という箇所もある。

### ㉑ミキサーが起こす細断での損失

- TMFRの均一な混合のために、混合時間を長くする。
- 乾草やその他の粗飼料を細断しすぎる。
- ミキサーの構造そのものが繊維の物理的な形状を保持しない。ハンマーミル状の細断器は粉を作る。
- 細断された粗飼料は、ルーメン内滞留時間が短いため、第3胃以下に早く進む。
- 第3胃より下部の消化管は繊維を消化できない。

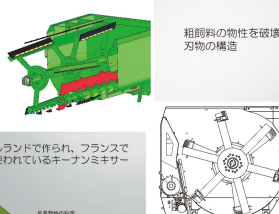
### ㉒ミキサーを改善した粗飼料



乳牛用TMFRの写真であるが粗飼料の繊維が破壊されていない

### ㉓ミキサーの開発

粗飼料の物性を破壊しない対物の構造



アイルランドで作られ、フランスで多く使われているキーンミキサー

### ㉔飼料効率の変化

フランスとイギリスの農場で飼料効率の改善

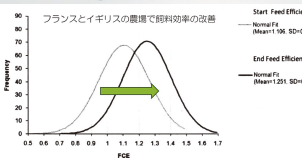


Figure 2. Change in feed conversion efficiency (FCE) for French and UK herds adopting the Kenam Mech-fiber system in 2009. Color version available in the online PDF.

## 資源循環型肉牛生産シンポジウム 2022

転載・再利用は固くお断りします

### 話題提供「脱炭素社会における畜産を考える 4回シリーズ④

鹿追町 環境保全センター担当課長 城石 賢一氏

### 消費者が生産に関わる仕組み

#### ■ 東都生協のスローガン

「食べる約束がつくる約束」  
「食べ続ける約束があって、生産者がつくり続けることができる」

#### ▶ 有機JAS格付け農場面積

年次	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
全耕地面積 (ha)	462.9	465.0	479.3	456.1	456.9	453.7	451.9	451.0	447.1	444.4	442.0	437.7
有機耕作面積 (ha)	8.506	9.184	9.401	9.529	9.889	9.477	10.043	9.958	10.366	10.800	11.002	12.007
有機耕作率 (%)	0.186	0.197	0.205	0.209	0.217	0.219	0.222	0.220	0.232	0.243	0.249	0.274

▶ 11年間で1.84%から0.274%へ(プラス3.521ha)

### 消費者が生産に関わる仕組み

#### ■ CCIPの内容

トカーボッププロジェクト(例)

項目	削減CO2 (kg)	削減金額 (円)	販売金額 (円)	販売総額 (円)
ソルジャー	3,503	1,511	350	70,000
えんま	2,598	1,112	259	51,800
クローバー	1,044	0,465	104	20,800
れんげ	812	0,365	81	16,200
子実用とうもろこし	2,598	1,112	259	51,800

### 消費者が生産に関わる仕組み

#### ■ 消費者を動かすには…

- 食べ続ける約束があって、生産者がつくり続けることができる
- 食べ続ける約束をどうやってつくる
- 価格ではない消費者メリットを考える
- 消費者がつながっていることの財産価値

Product Side	Customer Side
Product 製品、説明	Customer Value 顧客価値
Price 価格	Cost 顧客にとっての経費
Place 流通	Convenience 手に入れやすさ
Promotion 広告	Communication コミュニケーション

### 消費者が生産に関わる仕組み

#### ■ 農業高校生の応援りレー米

▶ 10年で21,843人の参加

年次	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	累計
人数	11,817	10,971	11,198	10,431	10,467	10,788	10,188	10,819	101,881
金額	14,351	12,714	12,463	12,221	12,002	12,281	10,862	11,144	114,103
金額/人	1,214	1,162	1,113	1,161	1,138	1,148	1,062	1,022	1,118

※2022年度は第1回年報まで

▶ もっとも多く購入された組合員は月に11kg(11袋・応援金1,000円)  
▶ 産地でもなく、銘柄でもなく、応援するための米を食べる組合員

### 消費者が生産に関わる仕組み

#### ■ 東都みのり(有機JAS+二重認証無農薬)

▶ 受注比率で10%を超えています(2030年目標は20%)

項目	東都みのり	東都みのり	東都みのり	
03野菜	金額	4,377,772,739	506,287,772	11.51%
	延べ人数	4,293,338	68,591	1.59%
	数量	3,737,448	465,243	12.42%
04果物	金額	1,937,977,236	233,854,283	12.07%
	延べ人数	377,894	47,258	12.50%
	数量	926,881	31,545	3.40%
08米	金額	1,443,756,338	48,431,852	3.24%
	延べ人数	1,624,648	8,600	0.52%
	数量	21,975,239	2,237,220	10.1%
	金額	9,829,006,319	788,974,107	10.07%

▶ 「マーケットがある」から「マーケットを創る」へ

### 消費者が生産に関わる仕組み

#### ■ 農業高校生の応援りレー米

#### ▶ 目的

- 将来の農業の応援
- 組合員の「食えたい」という気持ちの喚起と、「食えたい」商品の提供
- 将来につながる「食べる約束をつくる約束」を実現し、高校生と組合員が交流し、共感する関係づくり
- 東都生協の産直運動の先進性のアピール

#### ▶ 概要

- 東北の5つの農業高校のお米1kgを登録米にして毎月お届け
- 送料600円・100円の基金が上乗せされています。
- 今年で10年が経過しましたが、これまで2,800万円の基金が高校に届けられました。
- 「今、食べる約束が将来のつくる約束」です。

### 消費者が生産に関わる仕組み

#### ■ アイゴモロボの応援隊

▶ 田んぼを自動航行して田の泥をかき混ぜるアイゴモロボが、2023年に井筒農機より市販化されます。

▶ 2022年の実証実験では東都生協の12の産地で18台が活躍しました(全国で210台が稼働)

▶ このロボットを組合員が少しずつお金を出し合って購入し、生産者に贈ります。



この組合員は、食べる約束をした組合員

### 消費者が生産に関わる仕組み

#### ■ アイゴモロボの応援隊

▶ 田んぼを自動航行して田の泥をかき混ぜるアイゴモロボが、2023年に井筒農機より市販化されます。

▶ 2022年の実証実験では東都生協の12の産地で18台が活躍しました(全国で210台が稼働)

▶ このロボットを組合員が少しずつお金を出し合って購入し、生産者に贈ります。



この組合員は、食べる約束をした組合員

### 消費者が生産に関わる仕組み

#### ■ アイゴモロボの応援隊

▶ 田んぼを自動航行して田の泥をかき混ぜるアイゴモロボが、2023年に井筒農機より市販化されます。

▶ 2022年の実証実験では東都生協の12の産地で18台が活躍しました(全国で210台が稼働)

▶ このロボットを組合員が少しずつお金を出し合って購入し、生産者に贈ります。



この組合員は、食べる約束をした組合員